

まちなか回遊サービス導入検討

== 令和8年度 実証実験の実施計画書（案） ==

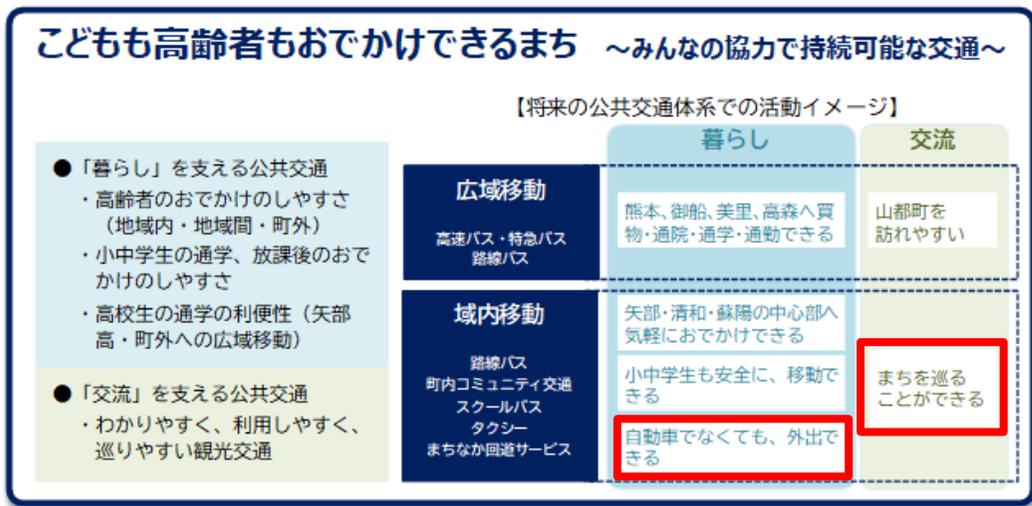
令和8年2月27日（金）

1. まちなか回遊サービス実証実験の背景と目的

1) 実証実験の背景

- 山都町地域公共交通計画において、事業1-4) まちなか回遊サービスの導入が設定されている。
- 令和6～7年度にかけて検討、令和8年度に試験運行を行いその効果を検証、令和9年度の本格運行を目指す事業のひとつとなっている。

■山都町地域公共交通計画で目指す将来像



■山都町地域公共交通の基本方針(抜粋)

- 基本方針3** 観光客が来訪しやすく、巡りやすい交通サービスの構築
山都町へ公共交通で来訪し、町内を回遊できる、観光客が利用しやすい交通サービスを確保する。
- 基本方針5** 町民の公共交通を支える意識の醸成
公共交通の維持確保に向けて、町民の公共交通に対する関心・利用意識を醸成する。

■目標達成に向けた施策・事業(抜粋)

施策1 町内の公共交通サービスの確保・改善

事業1-4) まちなか回遊サービスの導入

道の駅通潤橋、通潤橋、浜町商店街、運動公園など市街地内での距離が短い移動を支える、新たな交通手段を導入します。



■グリーンスローモビリティ
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス



■シェアリング
自転車や自動車、三輪車、車椅子などのレンタルサービス



施策	事業	実施主体	スケジュール(年度)				
			R6	R7	R8	R9	R10
【施策1】 町内の公共交通サービスの確保・改善	事業1-4) まちなか回遊サービスの導入	山都町	検討 →	→	試験運行 → 検証	本格運行 →	→

2) 浜町エリア（まちなか）の公共交通の現状①

■観光客の視点

- 町内の公共交通は路線バスとコミュニティバス、乗合タクシー、一般タクシーが運行している。
- 国宝指定された通潤橋までの公共交通は路線バス「山荘線」のみ。通潤橋の放水を見学する場合に利用できる便は12:13着の1便のみ。放水見学後に利用できる便は13:47発となる。
- 町の玄関口である「道の駅通潤橋」と通潤橋を結ぶ二次交通がないため、自家用車で来訪した観光客はP&Rを利用できず、そのまま車両で通潤橋へ向かっている状況にある。
- 通潤橋放水日には施設駐車場が満車となり、役場を含む周辺駐車場もあふれる状況にある。
- 町内各所に展示されている大造り物を見学するための手段は徒歩しかなく、まちなかを回遊する観光客は少ない状況にある(山都町での滞在時間が短い)。



2) 浜町エリア（まちなか）の公共交通の現状②

■地域住民の視点

- 町内には路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、一般タクシーといった複数の公共交通手段が存在するものの、エリア内の短距離移動に対応し、かつ利用しやすい料金水準の交通サービスが十分であるとは言えず、住民・来訪者が気軽に利用できる移動手段は不足している状況にある。
- 乗合タクシーは一般タクシーより安く利用(1人1回500円)できる交通手段であるが、前日あるいは当日1時間前までの予約が必要で、かつ、運行便の時間帯が限られている。
- 浜町エリアは坂道が多く、短距離であっても、高齢者の徒歩移動には負担が大きい。
- 小中学生の保護者からは、習い事の送迎が日常的な負担となり、家族の時間的・心理的な負担につながっているとの意見も聞かれる。

のりあい 乗合タクシー  **運行概要**
令和7年4月時点

乗合タクシーとは、山都町を旧町村ごとに3つの区域に分け、旧町村の区域内であれば、どこでも乗り降りができるサービスです。

運賃 1人1回 **500円** <定額制> 支払い方法は現金 or タクシーチケット
障がい者：半額（介助者は、1名まで半額）
未就学児：無料

時刻表 運行日 **月曜日～金曜日** 平日のみの運行です。12/29～1/3は運休です。

行き	各集落発	地区中心着	予約受付
行き1便	9:00～9:55	10:00頃	1週間前～前日16時
行き2便	13:30～14:25	14:30頃	1週間前～当日1時間前

帰り	地区中心発	各集落着	予約受付
帰り1便	12:30	12:35～13:30頃	1週間前～当日1時間前
帰り2便	16:00	16:05～17:00頃	1週間前～当日1時間前

山都町のタクシー

有限会社まるはタクシー

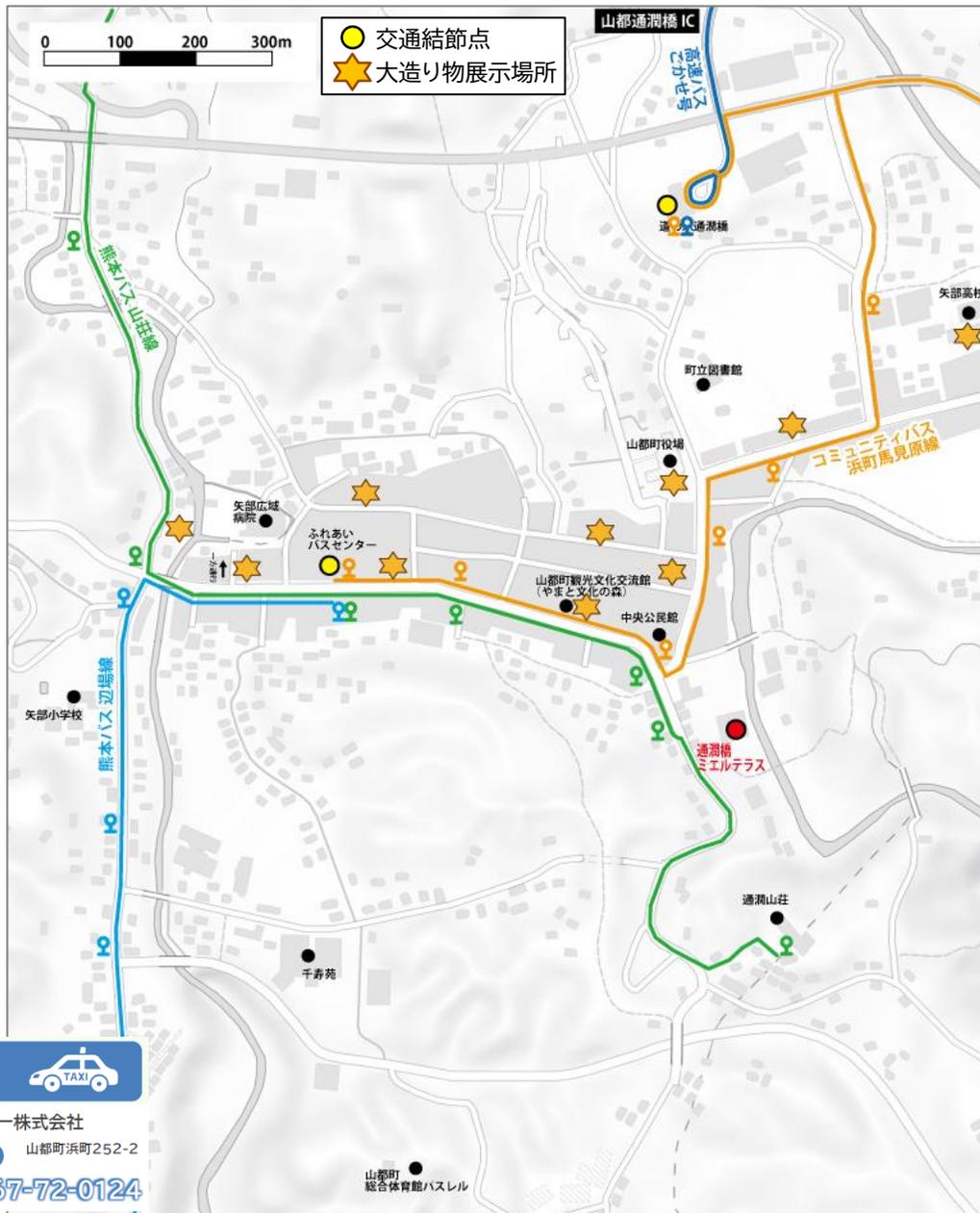
配車室TEL 山都町下町34-3

0120-54-8108

第一タクシー株式会社

配車室TEL 山都町浜町252-2

0967-72-0124



3) まちなか回遊サービス実証実験の目的



交通結節点(町の玄関口)である「道の駅通潤橋」と、国宝指定された「通潤橋」を結ぶ、**新たなモビリティを導入し、観光客の移動利便性の増進**を図る。



浜町エリア(まちなか)回遊ルートを設定することで、観光客がまちなかを回遊したり、町の文化資源である大造り物の見学を通じて、**観光客が山都町内の魅力を体感するための移動環境を構築**する。



地域住民の移動利便性向上を目指し、**町の中心部における短距離移動を補完するための新たな公共交通手段を確保**する。

2. まちなか回遊サービス実証実験の運行計画

1) 計画の概要

※適用条項は、78条第2号の適用とする。

項目	内容
運行期間	2026年9月10日(木)～11月20日(金) ※仮案
運行日	通潤橋の放水日のみ
運行時間	10時～16時 (6時間)
運行範囲	道の駅通潤橋～浜町周辺～通潤橋ミエルテラス～山都町役場～高田整形外科クリニック～山都町総合体育館パスレル ※既定ルート以外の道路は走行しない
運行形式	運行ルートは固定、呼出端末を用いるデマンド方式
呼出端末設置場所	①道の駅通潤橋 ②通潤橋ミエルテラス ③ふれあいバスセンター ④やまと文化の森 ⑤山都町役場 ⑥山都町総合体育館パスレル
乗降場所	乗車場所__上記6カ所の呼出ポイント 降車場所__乗車後に運転士に希望を伝える(ルート上であれば任意の場所で降車可能)
利用料金	無料
使用車両	TOYOTA e-Palette 1台
ドライバー	山都交通所属ドライバー(中型免許保有者)
車両待機場所	呼出がない場合は、30分に1回程度、規定ルート上を周回 それ以外は、ふれあいバスセンターで待機を基本とする ※運用状況をみながら適宜判断

2) 運行ルート

基本は、呼出端末を用いたデマンド方式の運行とする。
ただし、呼出しがない時には、以下の考え方で巡回運行を行う。

【観光客向けの回遊ルート】

通潤橋の放水時間前後の時間帯(11~14時)は、**観光客の回遊**をメインとしたルートを中心に運行。

<観光客向けの回遊ルート(ピンク)>の考え方

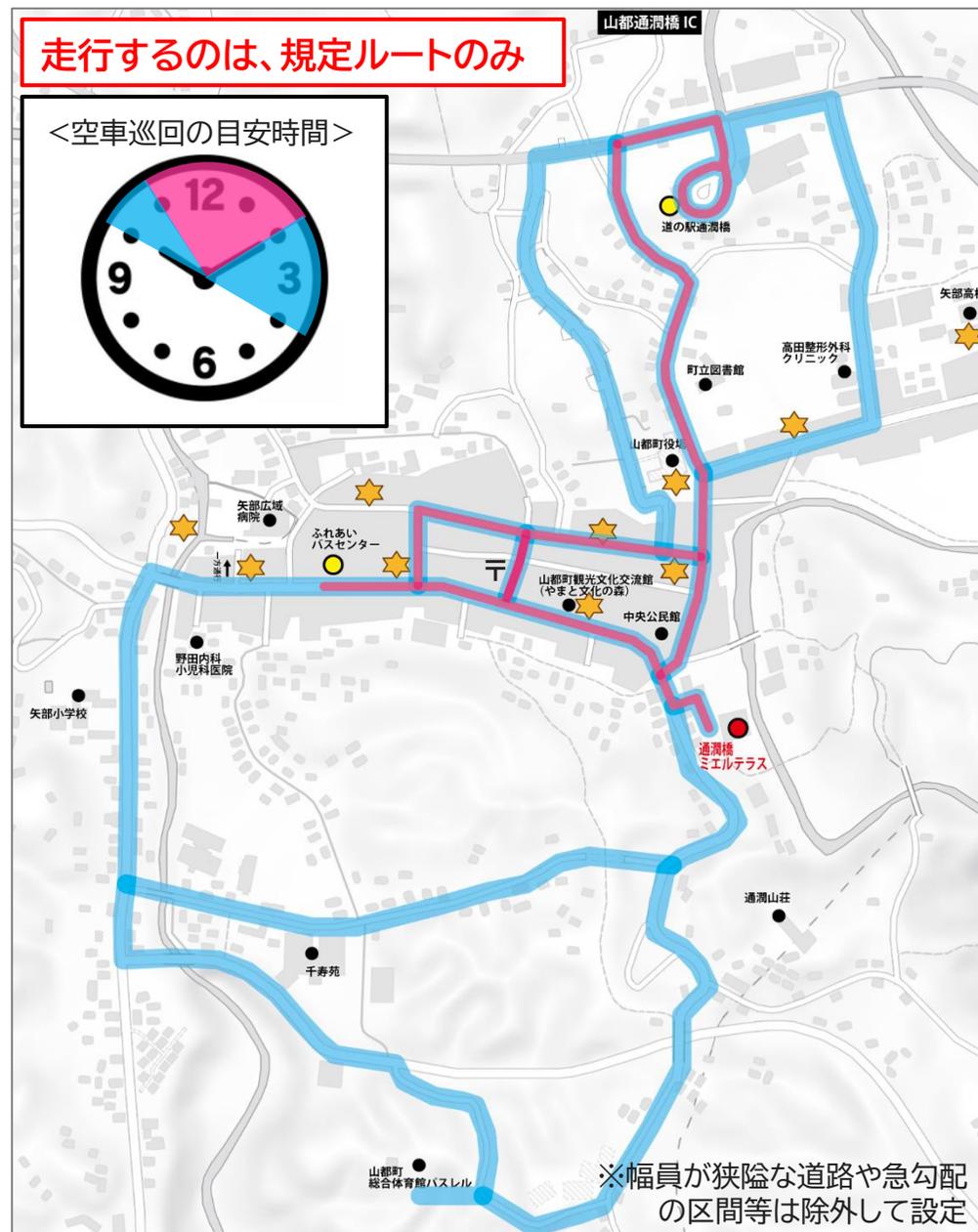
- 道の駅通潤橋から通潤橋ミエルテラスまでの移動を確保するルート
- まちなか回遊を希望する観光客に対して、大造り物が展示されているまちなかを案内できるルート

【地域住民の生活移動ルート】

観光客の利用(呼び出し)が少ないと想定される10~11時や14~16時は、観光客向けの回遊ルートに加えて、**地域住民の生活移動**を補完するルートも含め運行。

<地域住民の生活移動ルート(水色)>の考え方

- 山都町役場や郵便局、病院、スーパーなど、地域住民が日常的に多く利用する施設への移動を支援するためのルート
- 山都町総合体育館パスレルで、スポーツ活動やカルチャー講座を受講する地域住民の移動を支援するためのルート



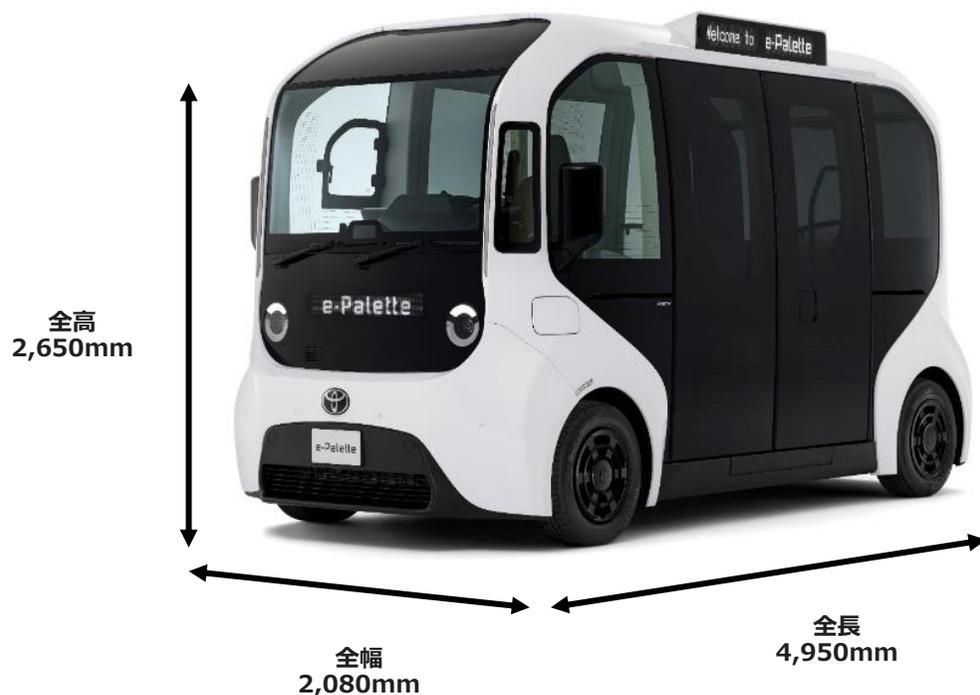
3) 使用車両

【使用車両】 TOYOTA e-Palette

実証期間中は、ユナイテッドトヨタ熊本(UT熊本)から車両1台をレンタルする。

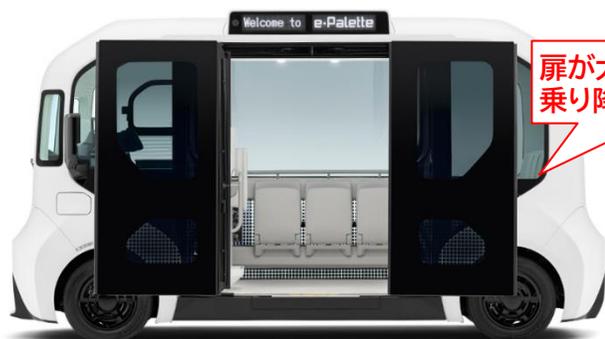
バッテリーEV車両であり、乗車定員は最大17名(ドライバーを含む)である。

運転資格は、中型免許が必要。



車両	車名	e-Palette
	全長/全幅/全高	4,950/2,080/2,650mm
	定員(座席+立席+運転手)	17(4+12+1)人
	フロア高	270mm ※オプション使用時
性能	ドア開口幅	1,280mm
	最高車速	80km/h
	最小回転半径	6.5m
	登坂性能	17%勾配
電池	航続距離	約250km ※WLTC(L+M)相当
	容量	72.82kWh
充電	急速(DC90kW・200A)	40分程度 (満充電量の約80%充電)
	普通(AC6kW・30A)	12時間程度

3) 使用車両



扉が大きく開くため、
乗り降りしやすい



先進的なコックピット

急速充電:約40分(約80%まで)
普通充電:約12時間(満充電)

普通充電
充電時間
約12時間程度



急速充電
充電時間
約40分程度

e-Palette (イーパレット) とは

●コンセプト

絵の具のパレットのように、「このモビリティで自由な未来を描きたい」
そんな想いをこの名に込めました。

自由な発想による多様な使い方で、新しいサービスを創出する。

街の景色を変え、人々の暮らしを支える。

それがe-Paletteです。

e-Paletteでどんな未来を描きますか？



●提供価値 - ヒト・コト・ココロの可動性を広げる -



ヒトが動く

移動の自由を

低床、大開口ドア、
電動スロープなど
アクセシビリティに配慮した車両



コトが動く

サービスがやって来る世界を

広い室内空間を使って
サービス形態の多様化
暮らしをより豊かに



ココロが動く

新たな移動体験を

心が動く感動する未来を創出
幸せを量産

4) 充電施設・設備

【充電施設】 山都交通ふれあいバスセンターの車庫

- 設備は200Vコンセント
- 電源工事費用は山都町にて予算確保済み
- 施工期間は1ヶ月程度を想定
- 具体の駐車・保管場所は、山都交通との協議にて決定予定

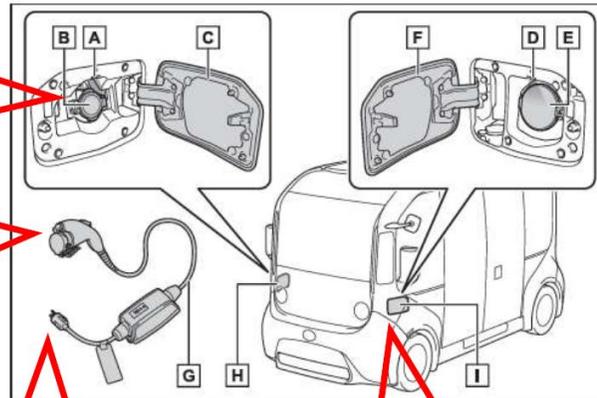


普通充電
充電時間
約12時間程度



充電に関する装備について

充電装備と名称



- A 充電インジケータ
- B 普通充電インレット
- C 普通充電リッド
- D 急速充電インレット照明
- E 急速充電インレット
- F 急速充電リッド
- G 普通充電ケーブル (200V 15m)
- H 普通充電ポート
- I 急速充電ポート

5) 呼出システム

【呼出システム】 TOYOTA CONIQ RIDE(トヨタ コニック ライド)

呼出ポイントに設置されたタブレットで乗車する人数を入力すると、車両側のタブレットに通知され、ドライバーが呼び出しポイントまで迎車する仕組みである「トヨタコニックライド」システムを使用する。

※UIは変更予定



6) 呼出システム

【運用イメージ】

呼出しボタンを押すと、
車両が迎えに来る



降りたい場所を
運転手に伝える



ルート上であれば、好きな場所
でおりることができる

まちなかを徒歩で回遊しながら、
途中の呼出ポイントで、再び車
両を呼び出すこともできる



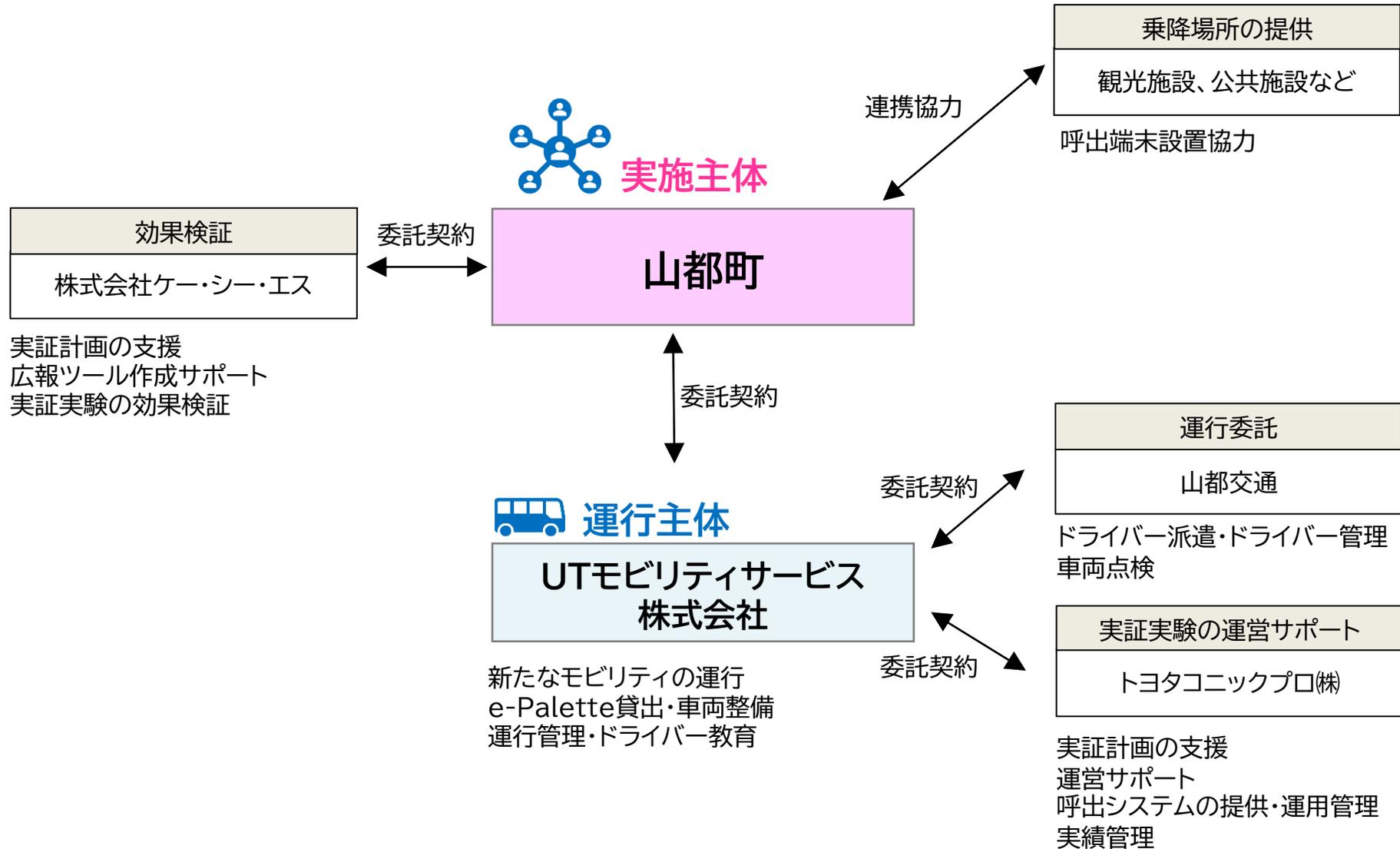
【呼出端末の設置施設】

- ① 道の駅通潤橋
- ② 通潤橋ミエルテラス
- ③ ふれあいバスセンター
- ④ やまと文化の森
- ⑤ 山都町役場
- ⑥ 山都町総合体育館パスレル

注) ⑤は土日祝は利用不可
④⑥休館日は利用不可



7) まちなか回遊サービス実証実験の実施体制



8) 効果検証の項目と手法

【効果検証の項目（案）】

本実証実験では、新たなモビリティ導入に伴う効果を、複数の視点から総合的に検証する。

詳細は、4月以降に調整予定

項目	内容	検証に用いるデータ
利用状況・需要	日別・時間帯別の利用者数、利用区間、呼出回数 など	トヨタコニックライドの実績データ
利用者の満足度	待ち時間、使いやすさ、乗り心地、町での滞在時間、おもてなしガイドの感想 など	利用者アンケート
車両の評価	充電量と走行可能距離、充電・車両管理に問題はないか など	山都交通ドライバーへのヒアリング TQおよびUT熊本へのヒアリング
システムの評価	呼出システム、ガイドサービスに問題はないか など	利用者アンケート 山都交通ドライバーへのヒアリング 呼出端末設置施設管理者へのヒアリング
ドライバーの評価	運転のしやすさ、ルートは適切か、乗降場所に問題はないか など	山都交通ドライバーへのヒアリング
他交通への影響	バス・タクシー事業への影響の有無 など	バス・タクシー事業者へのヒアリング
コスト	運行コスト	山都交通へのヒアリング
その他	実証中に発生した問題点 など	山都交通へのヒアリング

9) スケジュール案

詳細は、4月以降に調整予定

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
国への申請		申請 → 採択		→ 交付決定	(中間報告)			(中間報告)		(中間報告)		報告
実施計画		実施計画案を基に最終調整 → 確定										
車両の手配			事前調整		業者確定 → 契約					返却		
車両ラッピング		準備・要件整理 車両情報・展開図入手			デザイン制作・確認 仕様確定・発注 製作・施工							
ドライバー手配			事前調整		事業者確定 → 契約 → ドライバ - 講習							
充電施設の整備			事前計画		事業者確定 → 発注 → 工事							
システムの手配		準備・要件整理			設置交渉 仕様確定・発注		施工	システム管理		撤去		
広報活動			広報計画		広報ツール制作		広報活動					
実証運行							実証運行					
効果検証						計画				効果検証		とりまとめ